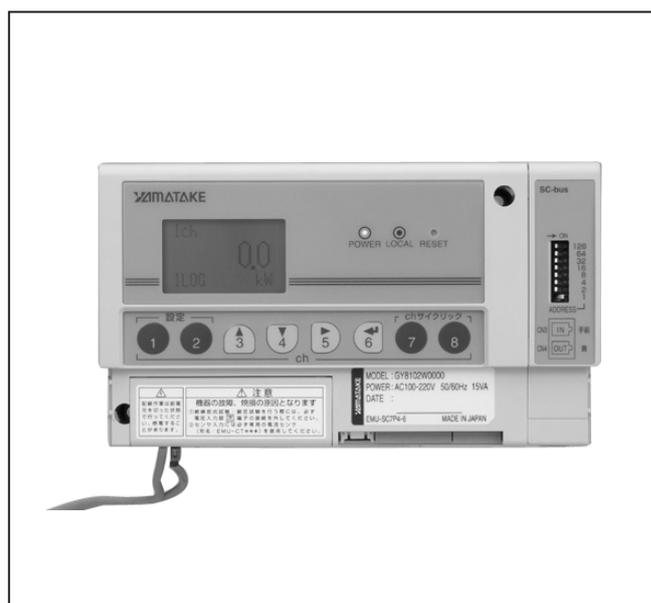


Watt Meter Module (WM) Multi Circuit 電力計測モジュール 多回路 形GY8102

■ 概要

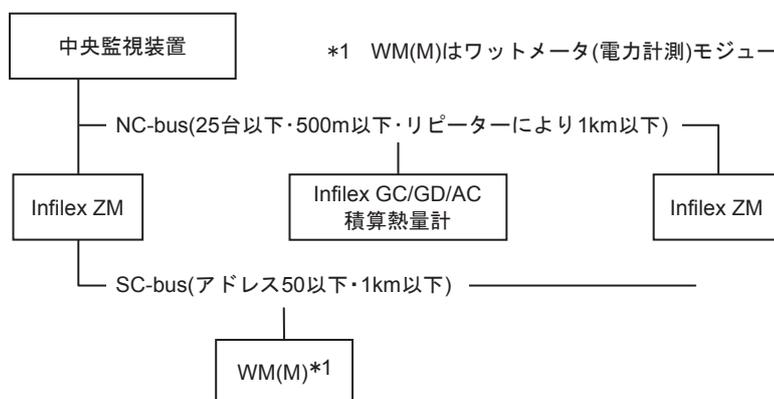
電力計測モジュール (WM) 多回路 形番GY8102は弊社の中央監視システムsavic-netシリーズと直接通信接続可能な多回路電力計測器です。専用小形分割CT採用により既設システムの計測に適しており、電力の使用状況を確認できます。



■ 特長

- (1) 電力量・電力(平均)・電流(平均)・電圧を計測できます。
1台で複数回路の計測が可能です。
- (2) 中央監視システムと通信接続できます。
リモートステーションが不要です。
- (3) パラメータにより、電圧(110V/220V)の切替や、相線式(単相2線/単相3線/三相3線/三相4線)の切り替えが行えます。
- (4) 電流センサはコネクタにより本体へ接続します。施工しやすく、誤配線を防止します。(専用ケーブル(コネクタ付)が別途必要となります。)
- (5) 専用小形分割電流センサ採用により分電盤での計測にも適します。
- (6) PT(外付け電圧トランス(AC440V/AC110V))を使用することでAC440Vの回路にも対応します。

■ システム構成



(注) 接続可能な中央監視装置については、弊社販売員にお問い合わせください。

図1 システム構成

安全上の注意

ご使用前に本説明書をよくお読みのうえ、仕様範囲内で使用目的を守って、正しくお使いください。お読みになったあとは、本説明書をいつでも見られる所に必ず保管し、必要に応じ再読してください。

使用上の制限、お願い

本製品は、熱源・空調設備などの冷暖房熱量の取引や管理を前提に、開発・設計・製造されています。本製品の働きが直接人命にかかわる用途および、原子力用途における放射線管理区域内では、使用しないでください。放射線管理区域で本製品を使用する場合は、弊社担当者にお問い合わせください。

フェールセーフ設計、冗長設計および定期点検の実施など、システム・機器全体の安全に配慮した上で、ご使用ください。

システム設計・アプリケーション設計・使用方法・用途などについては、弊社担当者にお問い合わせください。

なお、お客様が運用された結果につきましては、責任を負いかねる場合がございますので、ご了承ください。

電力料金取引、電力料金の按分を目的とした計量器として使用しないでください。

■ 設計推奨使用期間について

本製品については、設計推奨使用期間を超えない範囲でのご使用をお勧めします。

設計推奨使用期間とは、設計上お客様が安心して製品をご使用いただける期間を示すものです。

この期間を超えると、部品類の経年劣化などから製品故障の発生率が高まることが予想されます。

設計推奨使用期間は、弊社にて、使用環境・使用条件・使用頻度について標準的な数値などを基礎に、加速試験、耐久試験などの科学的見地から行われる試験を行って算定された数値に基き、経年劣化による機能上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期までの期間です。

本製品の設計推奨使用期間は、7年です。

なお、設計推奨使用期間は、寿命部品の交換など、定められた保守が適切に行われていることを前提としています。

製品の保守に関しては、保守の項を参照してください。

■ 「警告」と「注意」



警告

取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険の状態が生じることが想定される場合。



注意

取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

■ 絵表示



記号は、明白な誤操作や誤使用によって発生する可能性のある危険(の状態)を警告(注意)する場合には表示(左図は感電注意の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を禁止する場合には表示(左図は分解禁止の例)。



記号は、危険の発生を回避するために特定の行為を義務付けする場合には表示(左図は一般指示の例)。

⚠ 警告



結線は、電源の供給元を切った状態で行ってください。感電するおそれがあります。



本製品はD種接地以上に接地してください。不完全な接地の場合、感電したり、本製品の故障の原因となるおそれがあります。

⚠ 注意



本製品は仕様に記載された使用条件(温度、湿度、電圧、振動、衝撃、取付方向、雰囲気など)の範囲内で使用してください。火災や故障の原因となるおそれがあります。



本製品は仕様に定められた定格の範囲で使用してください。守らないと故障の原因となることがあります。



取り付けや結線は、安全のため、計装工事、電気工事などの専門の技術を有する人が行ってください。



配線については、内線規程、電気設備技術基準に従って施工してください。



本製品への給電元に電源遮断ブレーカを設けてください。本製品は電源スイッチがないため、本製品側では電源を切れません。



雷対策は、地域性や建物の構造などを考慮し、実施してください。対策しないと、落雷時に火災や故障拡大の原因となります。

⚠ 注意

❗ 端子台に接続する電線の末端には、絶縁被覆付きの圧着端子を使用してください。絶縁被覆がないと、短絡や感電のおそれがあります。

❗ 端子ねじは確実に締めてください。締め付けが不完全だと発熱・火災の原因となることがあります。

🚫 本製品を分解しないでください。故障したり感電するおそれがあります。

⚠ 注意

❗ 本製品に定格以上の電圧を印加した場合は、安全のために新品に交換してください。そのまま使用すると、故障や発熱のおそれがあります。

❗ 本製品が不用になったときは、産業廃棄物として各地方自治体の条例に従って適切に処理してください。また、本製品の一部または全部を再利用しないでください。

■ 形 番

形 番						内 容
GY810						電力計測モジュール
	2					多回路 (单相2線使用時：8回路、单相3線/三相3線使用時：6回路、三相4線使用時：4回路)
		W				電圧：AC 110V、220V共用
			0			
				0		相線式：单相2線、单相3線、三相3線、三相4線マルチ対応
					0	電流：CT 1次側 50A、100A、250A、400A、600A
					0	

■ 別途手配品

形 番	内 容
EMU-CT50	専用小形分割電流センサ (定格一次電流50A)
EMU-CT100	専用小形分割電流センサ (定格一次電流100A)
EMU-CT250	専用小形分割電流センサ (定格一次電流250A)
EMU-CT400	専用小形分割電流センサ (定格一次電流400A)
EMU-CT600	専用小形分割電流センサ (定格一次電流600A)
EMU-CT5-6	定格一次電流5A (貫通形) 5A電流センサ2個&ケーブル1本 (1m) (コネクタ付)
EMU-CB-C5M	電流センサ専用ケーブル5M (コネクタ付)
EMU-CB-C5MS	電流センサ専用ケーブル5M (コネクタ付):セパレートタイプ
EMU-CB-C10M	電流センサ専用ケーブル10M (コネクタ付)
EMU-CB-C10MS	電流センサ専用ケーブル10M (コネクタ付):セパレートタイプ
EMU-CB-C20M	電流センサ専用ケーブル20M (コネクタ付)
EMU-CB-C20MS	電流センサ専用ケーブル20M (コネクタ付):セパレートタイプ
EMU-CB-P3M	パルスケーブル3m
EMU-CV-F7P	保護カバー
EMU-KG-F7P	壁掛け取付け金具

■ 仕 様

項 目		仕 様											
本体電源定格電圧		AC110V/220V (50/60Hz)											
本体電源電圧		AC85~264V											
消費電力		本体電源 : 7 VA (110V入力時)、14 VA (220V入力時) 電圧回路 P1-2間 : 0.2VA (110V入力時)、0.6VA (220V入力時) P2-3間 : 0.2VA (110V入力時)、0.6VA (220V入力時) 電流回路 (各入力毎) : 0.3VA以下											
使用環境条件	周囲温度	0~50℃ (日平均35℃以下)											
	周囲湿度	30~80%RH (結露なきこと)											
	振動	9.8m/s ² max (at10Hz~55Hz)											
輸送保管条件	周囲温度	-20~60℃											
	周囲湿度	30~80%RH (結露なきこと)											
	振動 (輸送)	9.8m/s ² max (at10Hz~55Hz)											
取付		DINレール取付/分電盤用ブレーカ取付板取付/分電盤用ブレーカ連結取付爪取付/ねじ取付/壁掛け金具 (オプション) を使った取付											
表示灯	機器の状態を表示します	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>LED (色)</th> <th>説 明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源LED</td> <td>点灯 (緑色)</td> <td>制御電源が入っています。</td> </tr> <tr> <td>LOCAL LED</td> <td>点滅 (赤色)</td> <td>不使用</td> </tr> </tbody> </table>			名 称	LED (色)	説 明	電源LED	点灯 (緑色)	制御電源が入っています。	LOCAL LED	点滅 (赤色)	不使用
名 称	LED (色)	説 明											
電源LED	点灯 (緑色)	制御電源が入っています。											
LOCAL LED	点滅 (赤色)	不使用											
アドレス設定* ¹		アドレススイッチ (ディップスイッチ) による* ¹											
要部材質		ケース・端子カバー : PPO (ノリルSE1J) コネクタ (電流センサ用) : ポリアミド樹脂											
質量		1.0kg以下											
メモリ保護		電池による積算値保持											
接続/配線	電流入力	専用小形分割電流センサ+電流センサ専用ケーブル (コネクタ接続) あるいは、5A電流センサ2個&ケーブル1本 (コネクタ接続)											
	電圧入力	M3.5/CVV1.25mm ² またはIV1.25mm ²											
	通信	コネクタ* ² 接続 LANケーブル* ³ 配線											
通信方式	伝送方式	ポールレスポンス方式電圧伝送											
	伝送速度	4800bps											
	伝送距離	1km											
	接続台数	50台											

*1 同一SC-busライン上で、アドレスNo.が重複しないようにご注意ください。

*2 使用コネクタ プラグ:940-30-SP-3088R (SCSジャパン)

*3 使用LANケーブル EIA-568準拠カテゴリ3以上 φ0.5×4P

■ 入出力仕様

測定回路	下記のいずれかを選択可能* ¹ (電圧系統は同一) <ul style="list-style-type: none"> ● 単相2線8回路 ● 単相3線6回路+パルス2回路 ● 三相3線6回路+パルス2回路 ● 三相4線4回路+パルス4回路 	
測定要素	電力量 (積算値)* ² 、電力 (2分間* ³ の平均値)、電流 (2分間* ³ の平均値)、電圧 (現在値)	
本体許容差	電流、電圧、電力	基準精度 ±2.5% FS
	電力量	基準精度 ±2.5% (定格の1/20～1/1)
電力	電圧回路	220V (単相3線時) 110V・220V・440V (単相2線時・三相3線時) (440V時は外部に440V/110VのPTが必要) 63.5/110V・110/190V・240/415V・254/440V (三相4線時) (440V時は外部に $\frac{440}{\sqrt{3}}/\frac{110}{\sqrt{3}}$ VのPTが必要)
	電流回路	600A/400A/250A/100A/50A (専用分割型電流センサを使用)、5A 5Aセンサは変流器 (CT) と組合せた2段構成にて使用 (一次側電流値は2000Aまで設定可能* ⁴)
	周波数	50Hz/60Hz (周波数自動判別)
パルス	入力回路	オープンコレクタ
	絶縁方式	フォトカプラ絶縁
	入力条件	ON時間 : 30msec以上 OFF時間 : 30msec以上 チャタリング時間 : 3msec以下

*1 本器は8つの計測回路 (ch) を有し、相線式により下記のように使用できますが、弊社ゾーンマネージャー (Inflex ZM) と接続する場合はここに記載の4パターンのみ選択可能となります。

- 単相2線時は1～4chを電力計測として、5～8chを電力計測とパルスか接点入力のいずれかに使用できます。
- 単相3線時ないし三相3線時は1～4chを電力計測として、7～8chをパルスか接点入力として、5～6chを電力計測かパルスか接点入力のいずれかに使用できます。
- 三相4線時は1～4chを電力計測として、5～8chをパルスか接点入力のいずれかに使用できます。

なお、相線式は全回路共通です。相線式の異なる系統を同時に取り込むことはできません。

*2 プリセットは、ゼロリセットのみ可能です。積算値を任意の値へ変更できません。パルス入力の積算値も同様です。

*3 初期値です。0～15分の間で可変です。

*4 5Aセンサ使用時に設定可能な一次電流は以下のとおりです。

5A、7.5A、10A、15A、20A、25A、30A、40A、50A、60A、75A、80A、100A、120A、150A、200A、250A、300A、400A、500A、600A、750A、800A、1000A、1200A、1500A、2000A

■ 外形寸法

● 本体

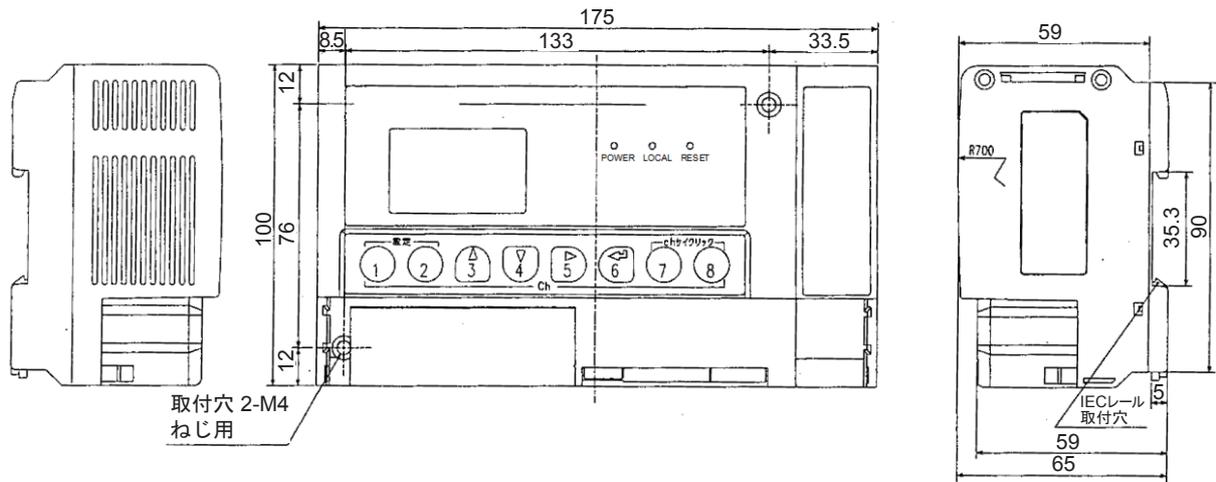


図2 本体外形寸法図 (mm)

● 分割形

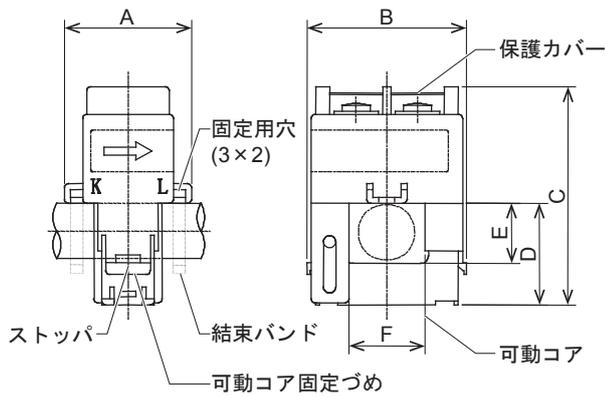


表1 変化寸法表 (mm)

形名	A	B	C	D	E	F
EMU-CT50/CT100	31.5	39.6	55.2	25.7	15.2	18.8
EMU-CT250	36.5	44.8	66	32.5	22	24

図3 電流センサ EMU-CT50/100/250 外形寸法図 (mm)

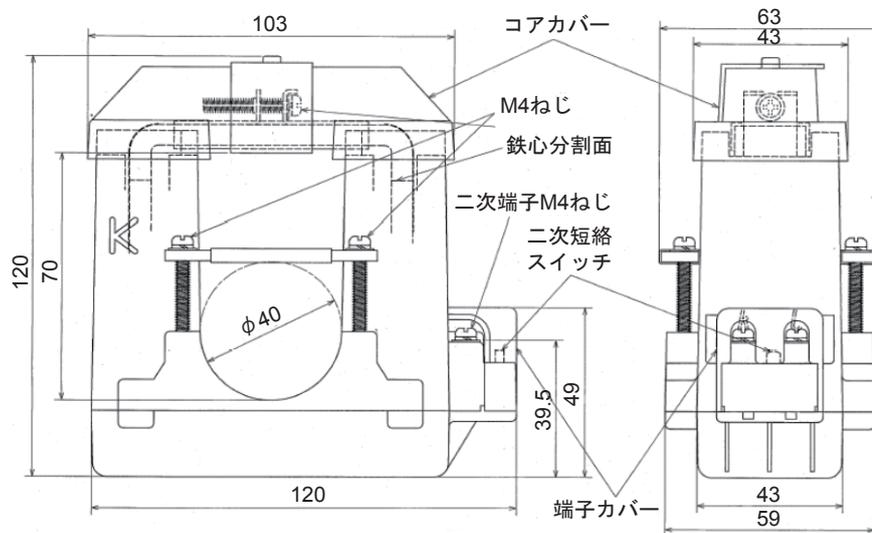


図4 EMU-CT400/600 外形寸法図 (mm)

● 端子配置

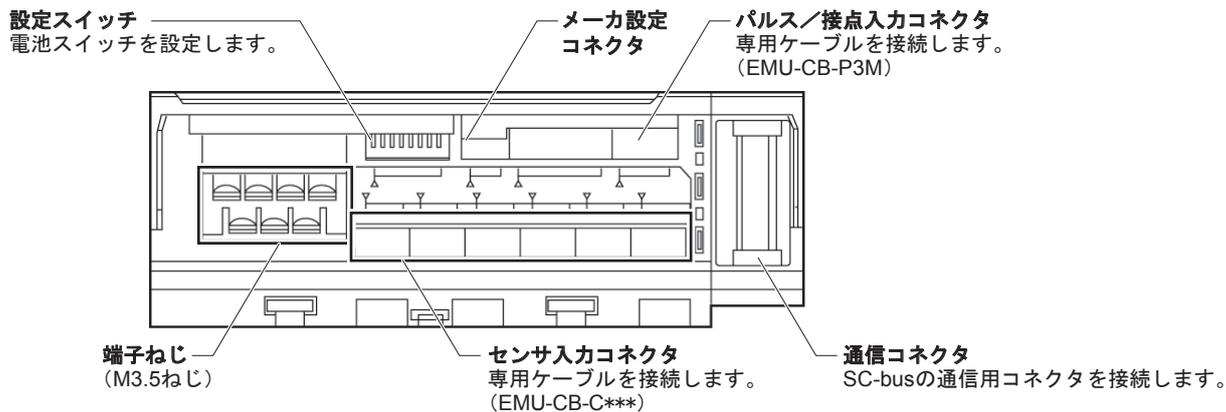


図5 接続面

重要!! ●メーカー設定コネクタには、手を触れないでください。

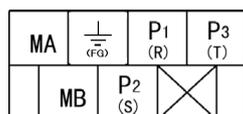


図6 端子台 三相4線式以外

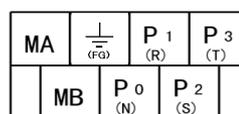


図7 端子台 三相4線式

重要!! ●三相4線式の場合、S相の端子接続が異なります。

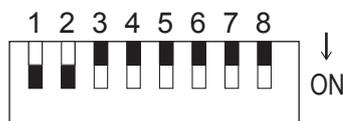


図8 設定スイッチ

表2 スイッチ設定表

番号	初期値	設定内容
1,2	ON	固定
3~6	OFF	固定
7	OFF	電池スイッチです。停電時に本機器に記憶したデータをバックアップします。ご使用時にONにしてください。 ON : バックアップする OFF : バックアップしない
8	OFF	固定

重要!! ●本機器を設置するとき、電池スイッチ(番号7の設定スイッチ)を「ON」に設定してください。
電池スイッチを切り換えるときは、細い(2.0~2.6mm)マイナスドライバなどを使ってください。

* 製品への一番最初の電源投入時などでは、電池スイッチの確認画面が表示されます。

■ 結 線

● 代表的な例

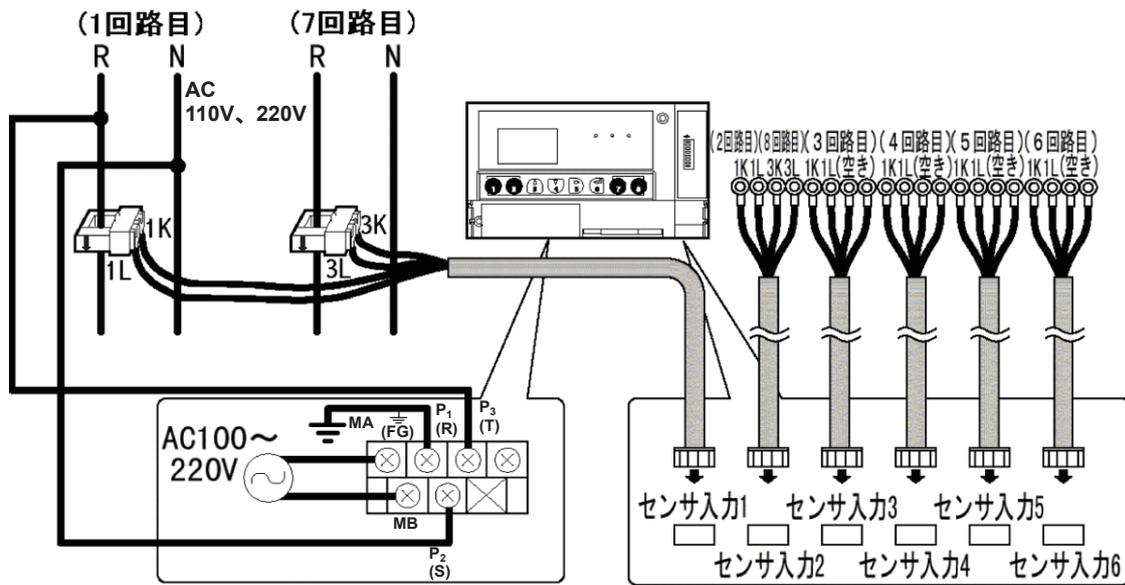


図9 単相2線式

- 1回路と7回路、または2回路と8回路が離れている場合は、セパレートケーブル (形名 EMU-CB-C**MS) をご利用ください。
- 単相2線のセンサ配線であまった圧着端子は他の電源などとショートしないように絶縁 (テープで巻くなど) 処置を行ってください。

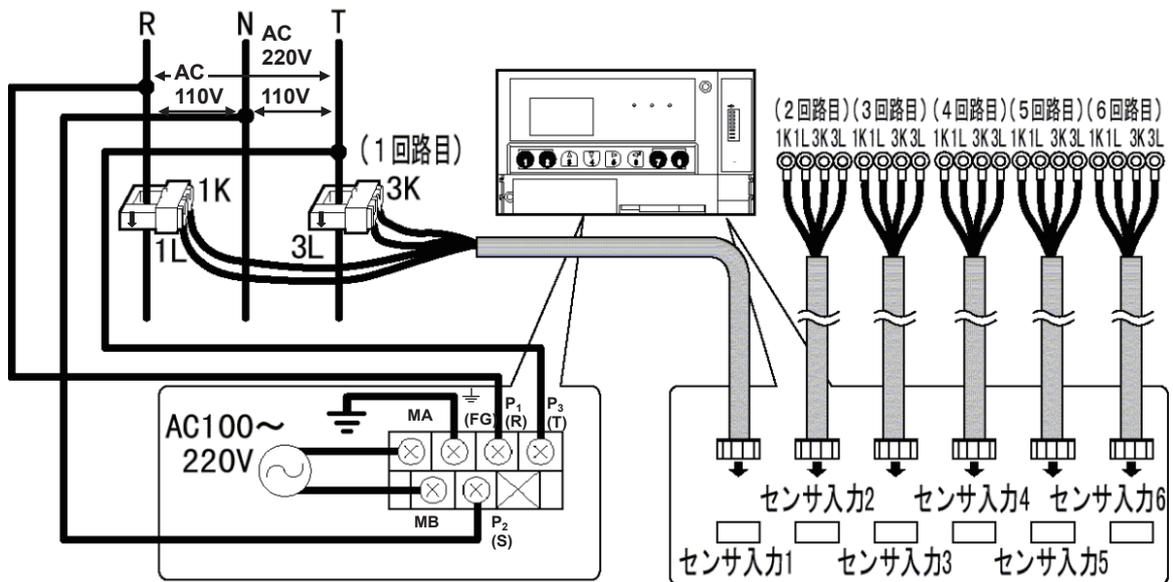


図10 単相3線式

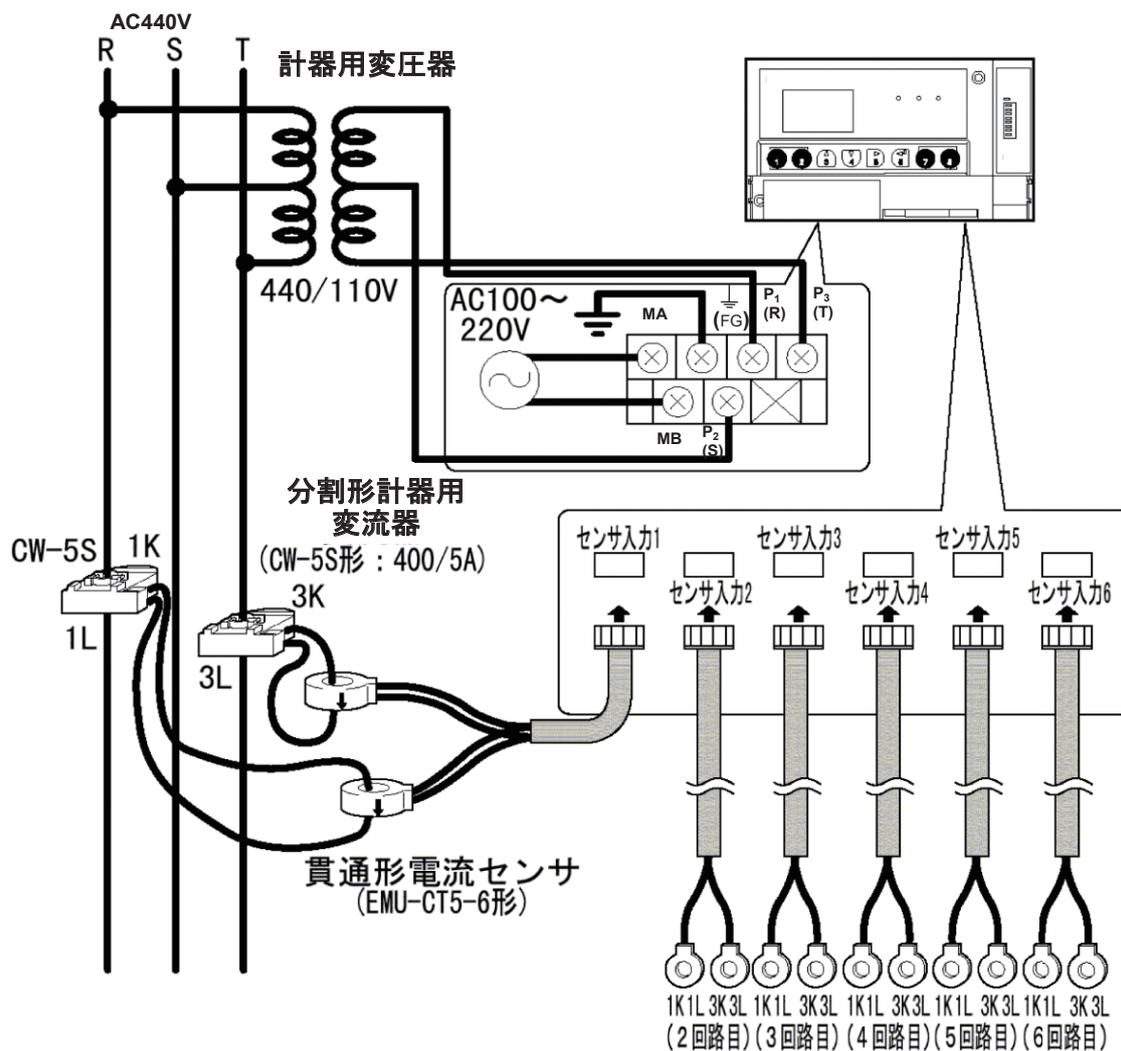


図11 三相3線式 (5A電流センサ使用時)

- 440V回路にご使用の場合は、計器用変圧器 (440/110V) を接続してください。
- 上図の接続例では、弊社製分割形計器用変流器を使用しています。一般の対5A計器用変流器も使用できます。

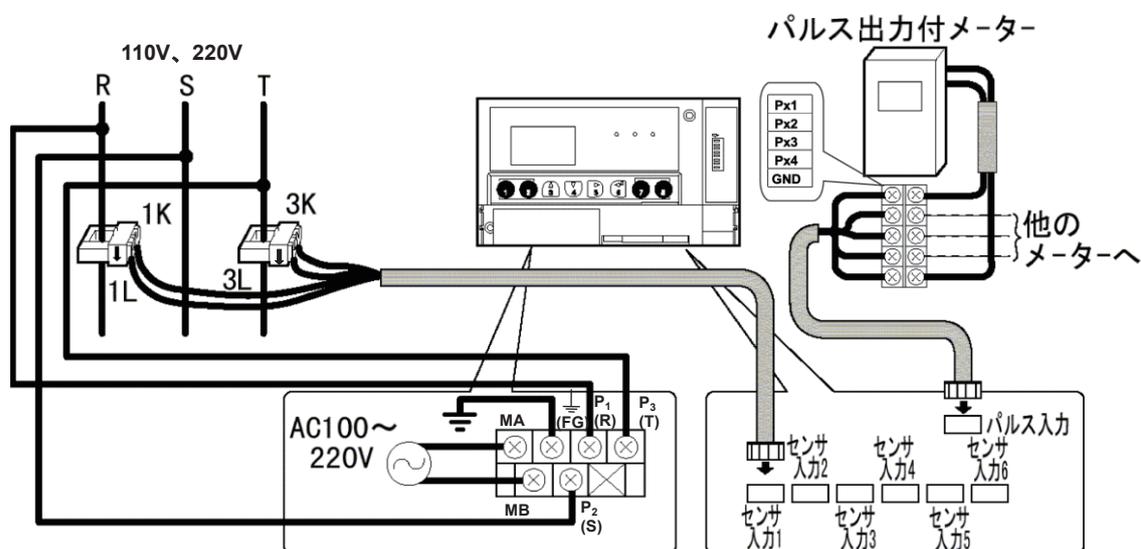


図12 三相3線式+パルス入力

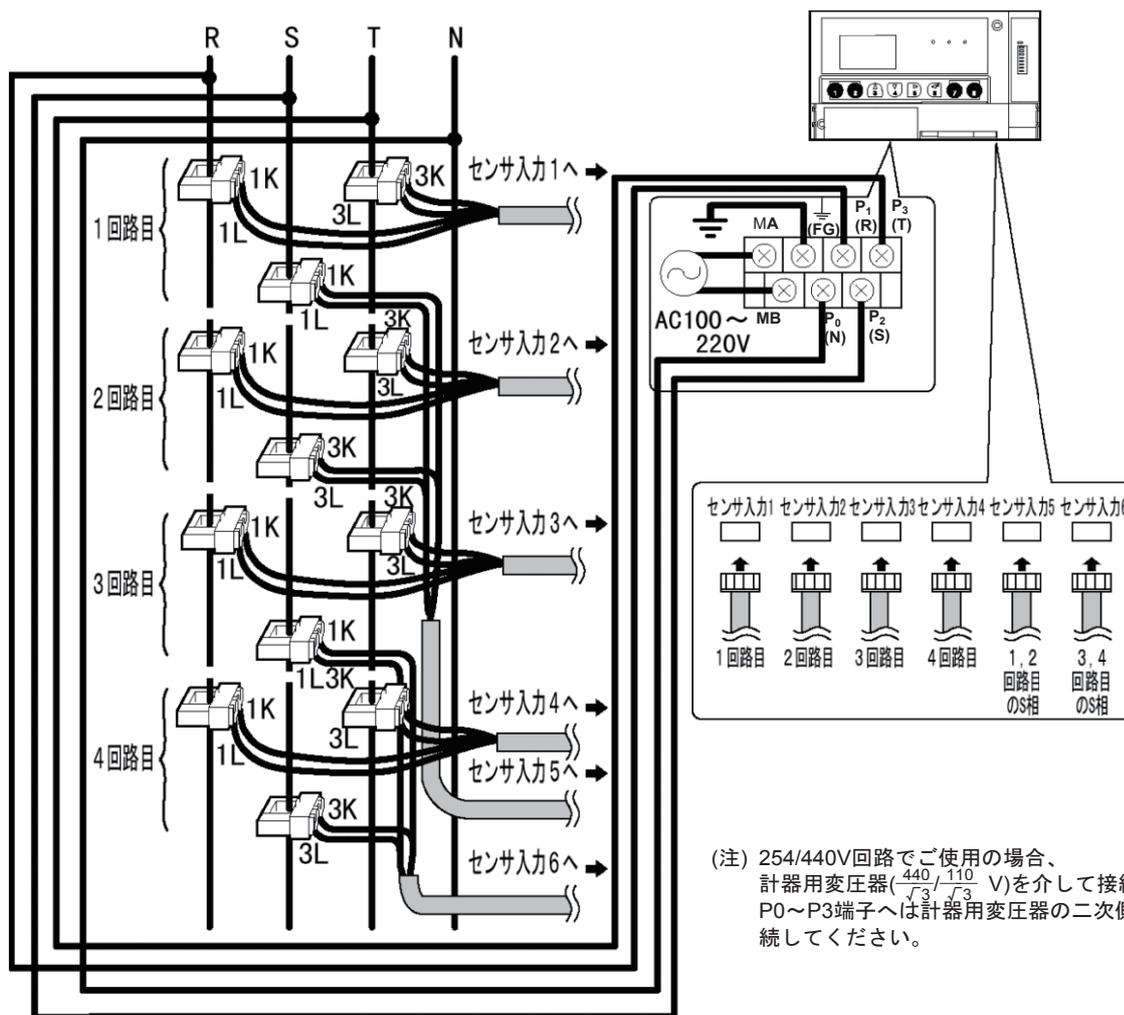


図13 三相4線式

表3 三相4線式のセンサ入力切替制限

組合せ例	1回路目	2回路目	3回路目	4回路目
1	専用電流センサ	専用電流センサ	専用電流センサ	専用電流センサ
2	5A電流センサ	5A電流センサ	5A電流センサ	5A電流センサ
3	専用電流センサ	専用電流センサ	5A電流センサ	5A電流センサ
4	5A電流センサ	5A電流センサ	専用電流センサ	専用電流センサ

- センサ入力切替に制限があります。表2いずれかの組み合わせにしてください。
- 三相4線のセンサ配線であまった圧着端子は他の電源などとショートしないように絶縁(テープで巻くなど)処置を行ってください。
- 1、2回路目のS相および3、4回路目のS相を接続する場合は、セパレートケーブルをご利用ください。
- 254/440V回路に使用する場合、計器用変圧器 ($\frac{440}{\sqrt{3}} / \frac{110}{\sqrt{3}}$ V) を接続してください。
- 63.5/110V、110/190V、240/415V回路に使用する場合、計器用変圧器の接続は不要です。ダイレクトに接続してください。

(注) 254/440V回路でご使用の場合、計器用変圧器 ($\frac{440}{\sqrt{3}} / \frac{110}{\sqrt{3}}$ V) を介して接続し、P0~P3端子へは計器用変圧器の二次側を接続してください。

■ 取 付

● IECレールへの取付

IECレールは、M4ねじまたはM5ねじで25～100mmごとに締め付けてください。IECレールの両端は横スベリ防止金具で固定してください。

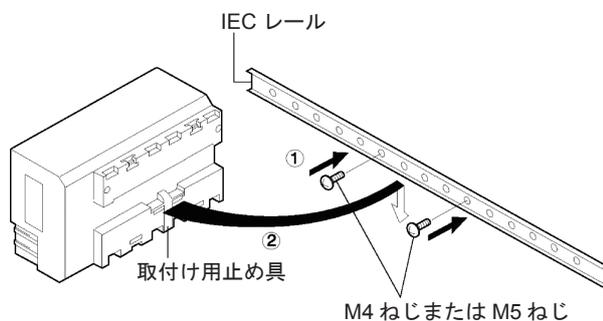


図14 IECレール取付

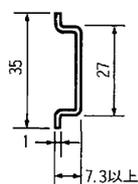


図15 適用IECレール (35mm)

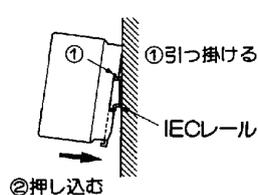


図16 取付

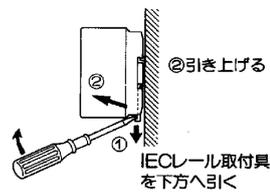


図17 取り外し

● 分電盤用ブレーカ取付板取付

取付板には25mmピッチで切れ込みが入れてありますから、本機器の取付個数に合わせて切り離しができます(2～3度折り曲げてください)。

取付板の取り付けは、M4×0.7ねじで2～4極ごとに締め付けてください。

取付穴ピッチ106mmと本体の中心は一致しています。

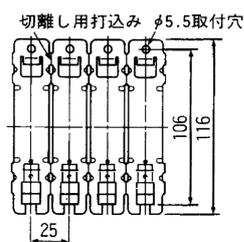


図18 取付板外形

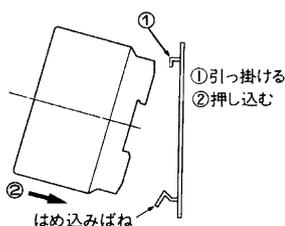


図19 取付

● 分電盤用ブレーカ連結取付爪取付

取付つめには25mmピッチで切れ込みが入れてありますから、本機器の取付個数に合わせて切り離しができます(2～3度折り曲げてください)。

取付つめの取り付けは、M4×0.7ねじで2～4極ごとに締め付けてください。

取付穴ピッチ104mmと本体の中心は一致しています。

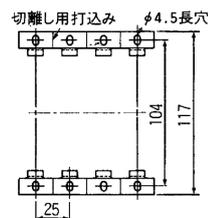


図20 取付つめ外形

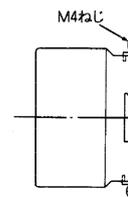


図21 取付

● ねじ取付

ねじ取付は、M4×0.7ねじで盤内ベース板に直接ねじ止めすることができます。

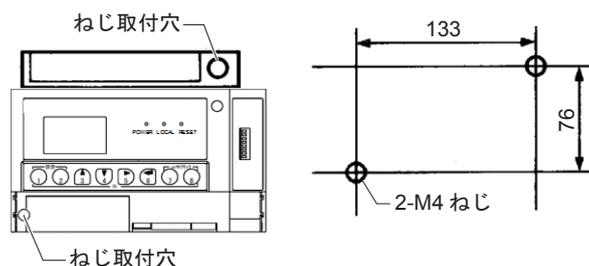


図22 ねじ取付

● 壁掛金具(オプション)を使った取付

① 仮設の場合、付属のM3 Sタイト段付ねじを壁に固定してください。

② 壁掛金具をM4ねじまたはM5ねじで壁に固定し、本機器を取り付けてください。

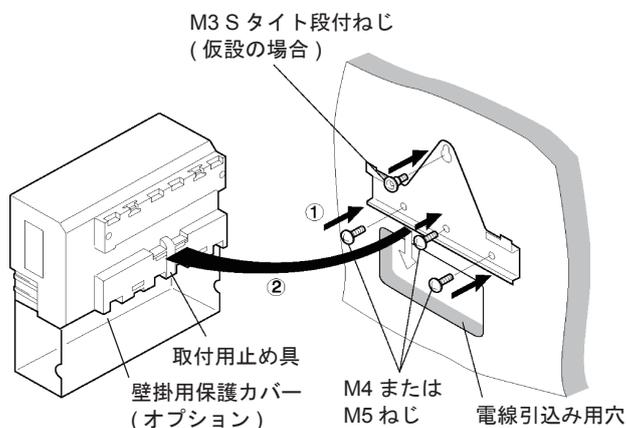


図23 取付

接続する回路の相線式を確認し、すべてのケーブルを接続します。

- 『結線』の項を確認してください。
- 計器用変圧器の接続については、計器用変圧器の取扱説明書をご覧ください。

● 分割形電流センサ (EMU-CT50/100/250) の取付

(1) 計測する回路のケーブルに以下の要領で取り付けます。

1. 下図のように可動コアを開きます。
可動コアの両側にある可動コア固定つめをゆっくり持ち上げて開きストッパから外します。無理に開いてツメを折らないよう注意してください。

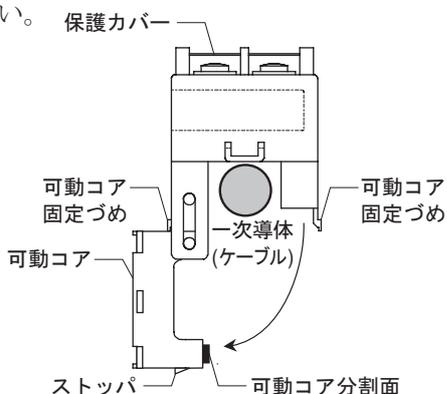


図24 分割形電流センサ取付

2. ケーブルをコア分割面に触れないよう注意して下からくぐらせます。くぐらせる前に電流センサの取付け方向を間違わないようK, Lの記号を見て確認してください(電源側から負荷側の方向を→で示しています)。

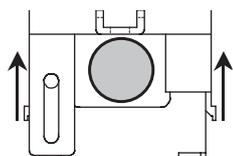


図25

3. コア分割面にごみなどが付着していないことを確認後可動コアを閉じます。ストッパが確実にかかるまで可動コアを押し上げます。(両側の可動コア固定つめがストッパにかかるとカチッと2回音がします。)

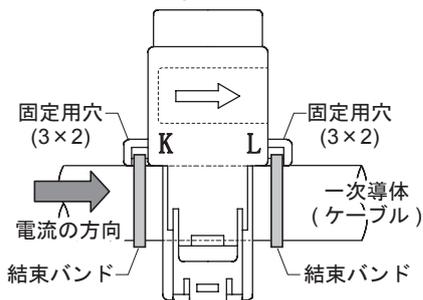


図26

4. 電流センサの固定用穴に結束バンドを通しケーブルと固定します。軽く止まる程度で絞め過ぎないように注意してください。(電流センサの固定用穴は電流センサの両面にあります。)
5. 余った結束バンドは邪魔にならない程度にニッパなどで切り落としてください。
6. 二次端子の保護カバーを保護カバーの中央を持ち上げて外し所定のセンサケーブルを接続します。二次端子面に記載されている端子記号を確認し誤って接続しないよう注意してください。

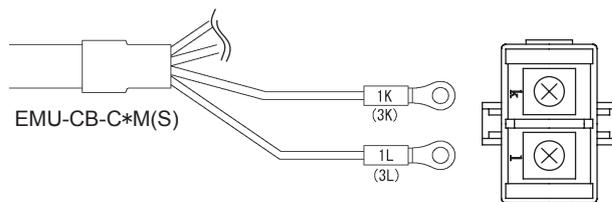


図27

- (2) ご使用の電流センサに合わせて本機器の一次電流を設定します。

重要 !! ● 分割形電流センサの可動コアを開くときには、可動コア固定つめを大きく広げすぎないでください。可動コア固定つめが破損することがあります。● 適用電線サイズは下表を参考にしてください。

		EMU-CT50	EMU-CT100	EMU-CT250
貫通可能な電線サイズ (参考)	IV線	60mm ² 以下	60mm ² 以下	150mm ² 以下
	CV線	38mm ² 以下	38mm ² 以下	150mm ² 以下

適用電線サイズは、一般的なビニル絶縁電線のカタログ値によるものです。使用する電線によって、外装被覆厚がことなる場合がありますので、本適用製品の外形寸法図を参照して、貫通可能か確認してください。

● 分割形電流センサ (EMU-CT400/600) の取付

- (1) 計測する回路のケーブルに以下の要領で取り付けます。
 1. ①のバンドを矢印方向(上)にはずし、コアカバーをはずします。
 2. 端子カバーをはずし、二次短絡スイッチを「短絡」にします。
 3. ②のねじをゆるめコアバンドを開いてコアを外します。コアにはゴミが付着しないようにしてください。
 4. ③のねじをゆるめ、本体にケーブルを通した後、ケーブル直付金具を使用して③のねじを締め付けて固定します。ねじの締め付けは直付金具が曲がらない程度に行ってください。
 5. 取り外したコアの「K」と本体の「K」の向をそろえて、元の通りにコアを戻し、②のねじでコアバンドを締付けてください。
 6. コアカバーを取り付け、①のバンドで止めてください。
 7. 二次端子と多回路電力計測ユニットを接続した後、二次短絡スイッチを「開放」にし、端子カバーを取り付けてください。

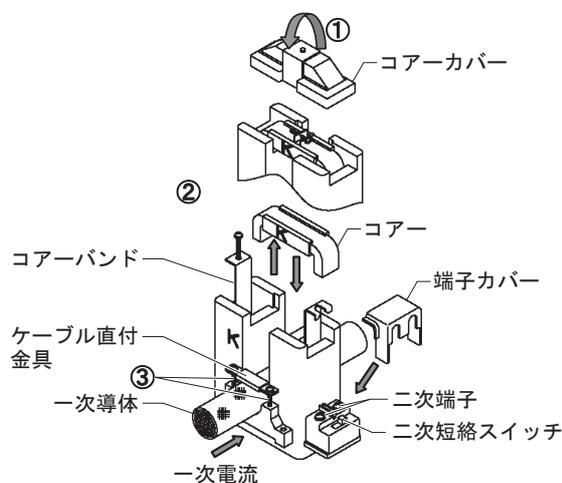


図28

重要!! ●ケーブルを通す前に電流センサの取付方向を間違えないようにしてください。
K→Lの方向です。
K: 電源側 L: 負荷側を示します。

- (2) ご使用の電流センサに合わせて本機器の一次電流を設定します。

● CT二次回路用貫通形電流センサ (EMU-CT5-6) の取付

- (1) 計測する回路のケーブルに以下の要領で取り付けます。
 1. 市販の計器用変流器の二次側のケーブルを電流センサ中央穴に通します。
 - ケーブルを通す前に電流センサの取付方向を間違えないようにしてください。
 - 計器用変流器の二次側端子の記号(K, L)を確認してください。K→Lの方向に矢印が表示されています。
 2. 電流センサを通した二次側ケーブルを計器用変流器の二次端子の空いた方へ接続します。
 - 誤って接続しないように注意してください。
 3. 電流センサを固定する場合は、電流センサ中央穴に結束バンドを通し、ケーブルと一緒に、軽くとまる程度に固定します。
 - 締め過ぎないように注意してください。
 - 結束バンドは2本使い、交互に縛ってください。
 - 余った結束バンドは邪魔にならない程度にニッパーなどで切り落とします。

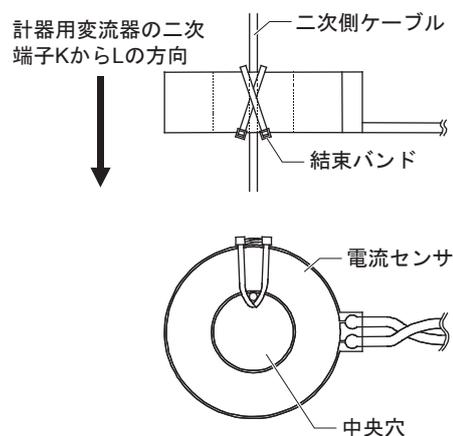


図29

- (2) ご使用の電流センサに合わせて本機器の一次電流を設定します。

■ 調整・設定方法

- ① 電池スイッチを「ON」に設定します。(6頁)

重要!! ●電源スイッチを「ON」にしないと、停電時に積算値が保護されません。

無通電状態が続く時は「OFF」にしてください。

- ② アドレススイッチ設定

マイナスの精密ドライバーを使って本体右側前面のディップスイッチでSC-bus上のコントローラNo.を設定します(設定方法：下図)。SC-bus上で使用可能なアドレスは1～50です。

重要!! ●同一SC-busライン上で、使用するSC-busアドレスが重複しないようご注意ください。

本器1台で、単相2線時は2アドレス/単相3線・三相3線時は3アドレス/三相4線時は4アドレスを占有します。ディップスイッチで設定したアドレスNo.は先頭アドレスになり、そこから占有アドレス数分を連続して、本器1台で使用します(例：三相3線時でディップスイッチを“20”と設定した場合、20・21・22を本器で使用します。)。使用アドレス全てが1～50の範囲にあり、かつ他のSC-busモジュールで使用するアドレスと重複しないよう、ご注意ください。

- ③ リセットスイッチを押します

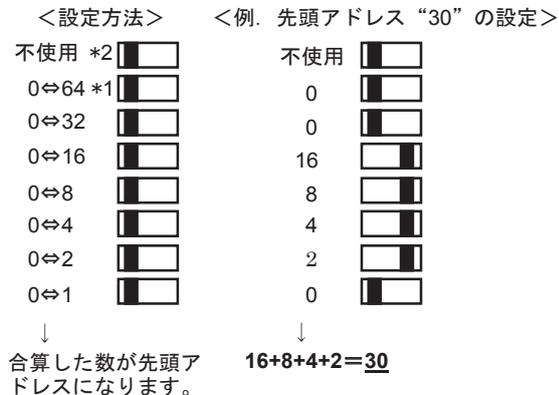
先の細いもので、リセットスイッチを押してアドレスを電力計測モジュールへ認識させます。

重要!! ●リセットスイッチを押さないとアドレスを認識しません。

■ 保 守

(メモリ保護用電池の取扱いについて)

メモリ(電力量積算値)保護のために、リチウム電池を用いております。通常では交換は不要ですが、1年以上電力計測モジュールが無通電状態で稼動した場合には、電池の交換が必要になります。その際は最寄の弊社販売窓口までご相談ください。なお電池交換の際は万一に備え、作業前に積算値の記録を行ってください。



*1 ここを64に設定すると64として認識します。SubController Master Data Spotを接続時に使用可能なアドレスは1～50ですので、「0」にしておいてください。

*2 このスイッチは認識しません。

図30

■ 取扱上の注意事項

- ① モジュラーケーブルは、他のケーブルと一緒に束線しないでください。
- ② 本器を設置する場合、モジュラーコネクタの口が上方向となる向きにしないでください。
- ③ 結線に誤りがないことを確認してから、電源投入を行ってください。なお、カレントトランスは入力を逆接続した場合、正常に電力測定ができないので注意ください。
- ④ 同一SC-busライン上で、アドレスNo.が重複しないようご注意ください。
- ⑤ 本資料3頁に記載の電流センサ・電流センサ専用ケーブルをご使用ください。
- ⑥ 電力量・パルス積算値のプリセットはゼロリセットのみ可能です。任意の値への変更はできません。
- ⑦ 本器は8つの計測回路 (ch) を有し、各chを電力計測かパルスか接点入力のいずれかに使用できます。
(詳細は5頁の*1をご参照ください)
弊社Inflex ZMと接続する場合は下記制約がありますのでご注意ください。
 - 単相2線ご使用時は、8ch全てを電力計測としてご使用ください。
 - 単相3線または三相3線ご使用時は、ch1～6を電力計測として、ch7～8をパルスとしてご使用ください。
 - 三相4線ご使用時は、ch1～4を電力計測として、ch5～8をパルスとしてご使用ください。
- ⑧ 詳細の取扱については資料番号：『AI-6364 多回路電力計測モジュール(多回路WM) 詳細取扱説明書』をご参照ください。

■ 表 示

本機器のモードには、通常使用時の「運転モード」と「設定モード」があります。

- 運転モードでは、回路の各種計測情報を表示します。(図31)。



図31

- 設定モードについては、『AI-6364 多回路電力計測モジュール(多回路WM) 詳細取扱説明書』をご参照ください。

アズビル株式会社 ビルシステムカンパニー

azbil

[ご注意] この資料の記載内容は、お断りなく変更
する場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせは、コールセンターへ

0120-261023

<http://www.azbil.com/jp/>

ご用命は、下記または弊社事業所までお願いします。